

ダリア挿し芽苗による切り花生産と球根増殖技術

福島県農業総合センター 作物園芸部花き科

1 部門名

花き－ダリア－増殖

2 担当者

鈴木安和

3 要旨

ダリアは球根価格が高いため、生産拡大のためには費用負担が大きい。そのため、球根を用いて増殖した挿し芽苗から切り花生産も行い、同時に球根の増殖を行う生産体系が確立できれば有効な技術となる。

そこで、ダリアの挿し芽苗による切り花栽培と球根増殖について検討し、定植時期と種球根の維持に必要な目標とする球根重量を明らかにした。

- (1) 親株重量がおおよそ 20g 以上であれば枯死せずに越冬でき、越冬した 20g 以上の球根は切り花生産及び球根維持が可能である(図 1)。
- (2) 8 月定植以降は 1 番花のみ、または未開花となるため、収穫量を確保しつつ球根増殖が可能な挿し芽苗での定植時期は 7 月までである(表 1)。

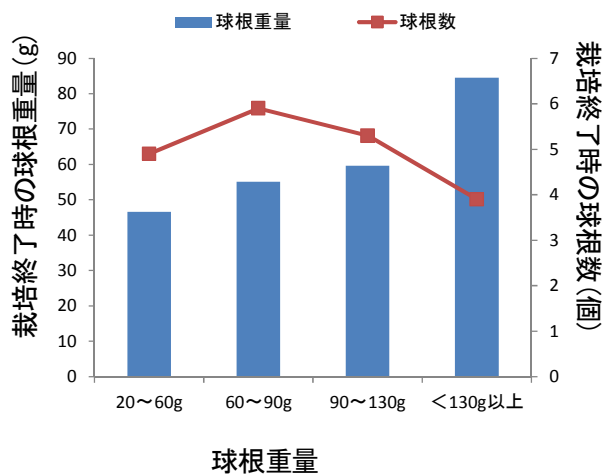


図 1 親株重量別の球根生産

注) 親球根の重量 20g 以下は越冬時の枯死した

表 1 挿し芽苗の定植時期別の球根形成および増殖率

定植時期	球根形成率 (%)	球根数 (個/株)	切り花開花時期 (回)
7月定植	100	2.3	9月、11月
8月定植	50	1.0	10月
10月定植	4	0.1	-

球根形成率 (%)

$\text{球根形成率 (\%)} = \frac{\text{20g 以上の球根を 1 つ以上形成した株数}}{\text{総株数}} \times 100$

球根数 (個/株) = $\frac{\text{20g 以上の球根数}}{\text{総株数}}$

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成 23 年度～26 年度
- (2) 研究課題名 地域の特色のある花き生産技術の確立
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

- (1) 奈良県農業総合センター研究報告(2007、2008)